

SDGsの取組み



持続可能な開発目標SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

当社では下記の取組みを行っております。

持続可能な循環型社会を担う廃棄物処理業者として、弊社は廃棄物の種類に合わせて対応出来る6部門のリサイクル工場を有し、廃棄物の分別を徹底し、適正処理・再資源化を実施しています。

営業部門において取り組んでいるSDGs目標は以下の通りです。



- ・ペットボトル資源循環の取組みにおいては、回収品質向上のため、排出事業者へ独自のパンフレットによる啓発活動や、全国清涼飲料連合会と連携した中間処理施設視察会開催、それに伴うマスコミ取材に対応する事で、自販機横のリサイクルボックスへの異物混入削減プロジェクトへ参画しております。また、飲料系メーカー様等と連携した、ペットボトルのメカニカル・ケミカルリサイクルによる「ボトルtoボトル」へのプロジェクトにも多数参画しております。
- ・古紙リサイクル率向上のため排出事業者様へ分別の徹底やシュレッダーの削減のための機密性書類回収ボックスの提案を実施しています。
- ・営業部門では排出事業者様に、リサイクル率向上のための現地調査、分別や廃棄方法についての提案・指導、講習会実施からアフターフォローまで、トータルサポートを実施しております。また、電子契約・電子 manifests 対応による業務効率化を実施し、排出事業者様と連携した省資源化、リサイクル率向上に努めています。
- ・営業車両についてもハイブリッド車や電気自動車を導入し、営業活動時の粗大ゴミ回収を実施する等地球環境に配慮した営業活動に努めております。

リサイクル工場において取り組んでいるSDGs目標は以下の通りです。



- ・廃プラスチック処理においては、分別・選別を徹底する事で埋立や単純焼却されていた廃棄物を原料燃料に再生し地球環境保全に貢献しています。

- ・全ての工場において、環境に配慮したソーラー発電導入、グリーン電力購入の検討を行うと共に、騒音・臭気・振動・飛散防止に努め、近隣の皆様の住環境の維持向上に努めています。
- ・作業負担の軽減のために先進的な設備機械を導入し、男女平等・年齢差別など無い雇用に努めております。
- ・生産効率を常に見直しし、電力等の使用量削減に努めております。
- ・リサイクル率向上のため、社内教育の取組みと、分別精度向上のため機械制御等に工夫を実施しております。
- ・災害時におけるBCP協定を同業他社と締結し、リサイクル活動に支障をきたさない体制を構築しております。

収集・運搬業務部門において取り組んでいるSDGs目標は以下の通りです。



- ・廃棄物の収集・運搬業務を着実に遂行するため、収集運搬量・走行距離による運行状況をデータ管理し、燃料消費を見直し、電子化で紙の使用量の大幅削減、安全運転・エコドライブ指導による交通事故削減、省資源化、温室効果ガス削減を徹底しています。

その他社内において取り組んでいるSDGs目標は以下の通りです。



以下の項目を推進しています。

- ・衛生管理推進による感染症対策。
- ・安全で働きやすい職場環境整備。
- ・廃棄物処理法の理解促進による廃棄物の適正処理。
- ・従業員個人のエコ活動への教育を推進。
- ・男女平等・年齢差別など無い雇用に努めております。
- ・効率的で働き甲斐のある職場作り。
- ・エコマーク商品の優先購入ペーパーレス化やコピー削減推進。

以 上